



**いずみ**  
Izumi

**(64号)**  
医療法人 畏敬会  
**井野辺病院**  
大分市中尾字平255番地  
TEL 097-586-5522  
FAX 097-586-5656  
2014年7月20日発行

**2014年度のこれからの井野辺病院**



院長 井野邊 純一

井野辺病院の院長 井野邊です。今年度の抱負について述べさせていただきます。

**病棟体制を変更  
在宅復帰を強化**

4月の診療報酬改定に伴い、当院の一般病棟は「地域包括ケア入院医療管理科1」と「一般病棟入院基本料(10対1)」になりました。地域包括ケア病棟には、主に急性期の病院で治療が終了した方が入院されます。また、急性期病棟には、当院に通院の方が病気を発症し治療する場合やリハビリテーションを行う場合に入院されます。また、今回の改定で、重度の疾患をお持ちの患者さんは、当院での

**回復期リハビリテーション病棟は  
入院基本料1を取得する**

脳卒中や整形外科の手術後、リハビリテーション目的で入院する回復期病棟ですが、在院日数の短縮に伴い、重度の患者さんが増えています。そこで、より重度の患者さんを受け入れられるように、「回復期リハビリテーション病棟入院基本料1」の取得を考えています。入院基本料1へ移行する為のハードルは高いですが、持ち前のチームワークを生かし乗り切ります。そして、これが病棟をはじめ病院全体の質の向上に結び付くと信じています。

長期療養入院が難しくなりました。長期療養目的の入院患者さんは、転院していただくこととなります。自宅療養が難しく、当院のケアを求めてこ来院頂いていた患者さんです。断腸の思いです。転院される患者さんには、信頼できる療養型病院や施設をご紹介します。

**当院開発のリハビリ電気  
機器(通称ロコモ)完成**



リハビリ電気機器 DRIVE

脳卒中等で回復の望みが少ないと思われていた上下肢の麻痺を改善する

る目的で、当院では、ニューロリハビリを積極的に研究、実践しています。その過程で、2筋を同時に刺激する電気刺激装置「DRIVE(ドライブ)」を大分の企業(株)デンケンと共同開発しました。既に患者さんに治療を行い、改善がみられる患者さんが増えています。今まで副作用のみられる患者さんはいません。今後より多くの患者さんに治療を行い、有効なリハビリテーションを提供して参ります。また、以前開発した電気刺激装置FEE、ポツリヌス治療やITB療法なども、これまでどおり積極的に取り入れ、治療を行っていきます。

**身体拘束ゼロをめざして**

身体拘束をやめ、より質の高いケアを行っていくという意識が職員に芽生えています。そ

ここで昨年度は、日本で身体拘束ゼロを実践している数少ない病院のひとつである、沖縄の北中城若松病院の院長 浦波先生を当院にお招きし講演会を行いました。その後、その病院へ



院内研修会「抑制廃止の取組について」2013.3.5

見学に行きました。そこで行われている身体拘束ゼロを目指したケアは、患者さんの可能性に目を向けたケアでした。そこで働く職員の志の高さにも敬服しました。この身体拘束ゼロの為のケアを当院でも是非行っていきたいと今まで以上に実感しました。

今年度、院内に「身体抑制廃止チーム」が発足しました。今後は、できる限り身体抑制をなくしていくよう尽力します。この活動は、当院の質の向上につながると思っています。

以上、今年度の抱負を述べさせていただきます。最後になりますが、これからも井野辺病院は一丸となって邁進して参ります。今後とも、様々な分野で、ご指導ご鞭撻をどうぞ宜しくお願い申し上げます。

**井野辺病院の理念**

人々がいきいきと暮らせるように、リハビリテーションを通して地域社会に貢献する。

常に高い目標をもち、人生の質の向上に努める。

**「井野辺病院の運営方針」**

- <リハビリテーション・ケア体制>  
急性期から在宅医療まで、充実したリハビリテーション・ケア体制を提供する。
- <医療体制>  
安全で質の高い医療を、インフォームド・コンセントに基づいて提供する。
- <職員の育成>  
患者・家族から必要とされる職員になるための教育に努める。
- <健全経営>  
職員の満足度向上に努める。

# リハビリテーション専門医 のご紹介



医師 新関 よしこ 佳子

リハビリテーション科医の新関佳子と申します。「リハ科医って何？」と思われる方もいらっしゃるのではないでしようか。リハ専門医はまだ数も少ないので、一般の方にはあまりなじみがないかもしれません。この自己紹介の機会に、リハ医学とリハ科医師についても少しお伝えできればと思います。

生まれと育ちは鹿児島で、大学進学で大分に参りました。平成11年の卒業後は鹿児島大学リハ医学講座に入局し、主に鹿児島でリハ科医として働いていました。3年前縁あって大分の地に嫁ぎ、井野辺病院でお仕事をさせていただくことになりました。

専門であるリハ医学は、患者さんが病气やけがで不自由になったこと、いわゆる「障害」についてアプローチをするのが特徴です。そして、それは手足の麻痺や筋力の低下、うまく話せない、飲み込めないといった身体の機能の障害だけにとどまりません。注意や記憶といった認知面、着替えやトイレ、歩行などの日常生活の動作、更には家事や自動車運転といった応用的な動作、復学・復職といった社会活動の参加における制約まで、患者さんの生活全般にわたっての「不自由さ」が対象になります。

あり、患者さんの状態に合わせたいろいろな治療を組み合わせて行うなど、より専門的になってきています。以前より、当院ではそういった取り組み（ニューロリハ）を積極的にしています。院長先生が率先して最先端のリハ治療技術を患者さんに届けようとしていられる姿勢が印象的で、日々触発されながら仕事させていただいています。

私自身は麻痺や歩行障害の治療に加えて、患者さんの生命維持と生活の質に直結する、「食べること（摂食嚥下）」と出すこと（排泄）のリハに興味があり、これまで取り組んできました。当院でも私の拙い経験が生かせたらと思っています。どうぞよろしくお願いたします。



《新関医師の診療日等のお問合せ》  
井野辺病院外来  
0967-589-1000

# 呼吸療法認定士の資格を取得

この度、理学療法士の3名が3学会合同呼吸療法認定士の資格を取得しました。

## ◆どんな資格？

3学会合同呼吸療法認定士（以下、呼吸療法認定士）は、日本胸部外科学会、日本呼吸器学会、日本麻酔科学会の3つの学会が設置した認定委員会によって創設された資格です。現在、呼吸療法には多職種によるチーム医療が有効であると考えられています。呼吸療法認定士制度創設の背景には、呼吸療法に携わる構成員を養成するという目的があることが主旨にうたわれています。

## ◆資格を取得するには？

取得可能な医療資格は、看護師、准看護師、臨床工学技師、理学療法士の4つの資格です。また平成26年度の試験より作業療法士も取得可能となっています。呼吸療法認定士になるには、年1回開催される認定講習会を受講し、同じく年1回の認定試験に合格するというステップが必要です。毎年合格率が6割の狭き門です。現在、呼吸認定士の資格を持つ理学療法士は約9000人いますが、大分県には約70人と少なく、その中で今回、理学療法士3名が合格し、当院の資格取得者が理学療法士4名、看護師1名となりました。

◆資格を取得したときの感想  
合格通知が届いたときが今までの努力が報われてうれしかったです。

## ◆今後の抱負

患者さんのリハビリに生かせるよう努力し、今後、資格取得を目指す方々のサポートをしたいです。



大池 智章



浜田 有斗

患者さんにリハビリで還元し、今回の資格取得で得た知識を後輩にも教えていけるよう頑張りたいです。



染矢 尚規

臨床の場や応用としても生かしていただけるよう、今後努力し患者さんに少しでも還元したいと思います。

《リハビリに関するお問合せ》  
0967-589-1000  
リハビリ課まで

# 患者満足度調査(2013年度)のご報告

当院では外来患者さん、入院患者さんを対象に患者満足度調査をアンケートにて行っております。この度、アンケート集計経過(一部抜粋)を掲載させていただきます。皆さまの声を真摯に受け止め、より質の高い医療の提供、サービス向上に努めて参ります。 院長

## 1.施設・設備について



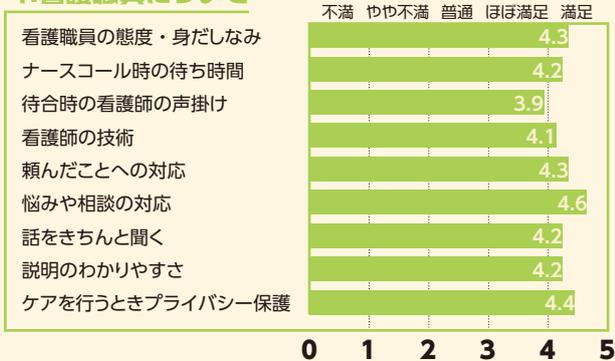
## 2.受付および会計窓口について



## 3.医師について



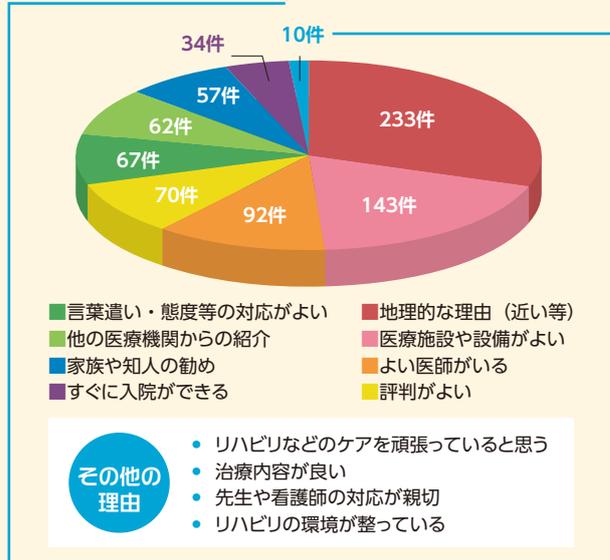
## 4.看護職員について



## 5.リハビリ職員およびその他職員について



## 6.当院を選ばれた理由



## 要望事項 ※抜粋

- 医師、看護職員などが親切に対応していただいていることを強く感じました。老人医療が関係の皆様の大きな理解と奉仕により実施されていることを痛感しました。ご苦労様です。
- 洗面所の水が流れにくい。
- 入浴回数を増やしてほしい。
- 入院に関してほぼ満足。
- 病室でお菓子を食べている人がいる。もっと厳しくしてほしい。
- リハビリスタッフ・看護師の方、大変よくしてくれました。
- 職員への教育が徹底されているので安心してお願いできます。
- 良くなる日までなるべく長く入院させていただきたい。あと何日と言われると不安で心配です。
- 皆様の優しさに家族まで癒されています。
- 介護士、看護師さんは決められた対応だけではなく、本人にもっと適応したやり方を考えたらもっとすばらしい病院になるのでは。売店の横に小さなカフェがあったら、そして医療の簡単な豆本を入れたら嬉しいと思う。
- 喫煙所がほしい。
- リハビリ施設、人材の質の高さ。毎日痛いけど楽しんでリハビリしています。
- 全体的には雰囲気も対応も良いので、他の病院にいくより気持ちや通院し易いです。皆様に感謝しています。
- 明野介護センターの勉強会の際、井野辺病院が良いと聞き申し込み現在に至っています。職員の皆さんが優しく対応して頂き、是非病気もここで治して頂きたく、来院する事を楽しみに来ています。もっと早く来院すればよかったと主人と話しています。
- 会計の待ち時間が多少長いので早くしてほしい。
- 待合室の椅子に肘掛があると立ち上がるのに便利。
- 皮膚科の診察の曜日を増やしてほしい。
- お年寄りが多そうなのにトイレが狭くて使いづらいと思いました。
- 施設がとてきれいだと思います。先生方や職員の方の対応にも満足しています。医療設備が(CT、MRI)などが充実していて安心です。
- 受付の方は笑顔が素敵です。

